



改革概論(元)

第三章 史的考察

能検査器といふものを備付育者の智能の測定、素質吟けて一かど新しい教育でも味等は両親、家庭、生活、やつて居るかの如き学校も環境等によつて遺憾なく取少なくないと云ふ、まこと調べられ優劣等児等児等特に馬鹿くしい子供らしい殊児童取扱法もそれく講仕事をやつてゐるのでありせらるであつたのでありまます教育の

御希望の方は左記へ

マルトモ 柴田書店
電話 二三四番
九〇五番

實際教育學によつたものであることは勿論なものであります被教育者の家庭も生活も環境もろくに調査もせず貧窮な町村費中か謂近世科學の研究の様なら幼稚園の恵物見た様な智

六千余名消防軍 明日華かな検閲

縣下各組頭の參觀に 表彰される百卅一名

平署の管下二十二ヶ町村消防組の春季検閲は十六日午前九時から平町八幡小路路傍中グラウンドに於て舉行される之より先き出席順に約六千の各組員は本町通り一丁目から五丁目に至る街路兩側に整列し人員並に被服其他の點検終つて前記グラウンドに亮々たる進軍喇叭で練心む管であるが今回の検閲は十五日の縣下組頭大會に引續き、警務部長外縣官多數の臨席もあり且つ參觀に殘る組頭並も数多くない。規律訓練其他各段の彩やかを見すべく各組何れも非常の緊張であるから従来一層美事なものであらう向この華やかな表で表彰される者は如左記

- 原正美、御代喜作、伍長馬上一、小野三郎、清野、野秀之助、米澤寛、小野森之助(小名濱)伍長、金成茂男、酒井直恵、馬目安平、消防手坂本龜吉、高木武雄、佐藤菊吉、吉田武義、吉田忠次郎、吉田幸平、伊藤幸一、吉田光茂(江名)小頭三島五郎、鈴木睦武、消防手江尻意宜、鈴木茂、高秋富雄(鹿島)伍長鈴木道之助、四家富雄、中山岩藏、大和田西松、鈴木興市、消防手鈴木勝彌(豊間)伍長箱崎謙壽、消防手箱崎善吉、矢吹章、佐藤定平、鈴木庄佐、鈴木匡(高久)伍長阿部信彌、消防手鹽英、若松廣喜、丹野太五平、山崎明勝、村田包宜、鈴木伊勢與(飯野)消防手酒井末次、大和田稔、新妻馨、市井作味、小林治右衛門、渡邊五郎左衛門、渡邊彌壽(夏井)小頭木村利平、消防手柳原
- ▲表彰組員人名
伍長早野喜一、消防手正木廣造、高野清一、大内昌吉、今田美忠、藤田吾、管本市之助(平)小頭佐藤三平、伍長遠藤萬四郎、藤谷長平、消防手小松徳太郎、市川平治、渡邊高次郎、塩千代造、久野榮次郎(内郷)小頭佐藤貢、伍長中島徳雄、志尾崎義雄、消防手橋本喜藏、松本清、小久道太、田子稔(湯本)伍長藤澤吉大和田祐一、小野重彦、藤藤次、消防手稻沼文平、酒井忠文、鈴木忠(警務)小頭佐藤義保、小泉忠文、消防手渡邊昇、永山常太郎(玉川)小松

明日ありと思ふ 心のあだこくら

夜半より降れる憎い 雨で園遊會滅茶々々

昨夜の降雨は真に仇の雨であらう、縣下消防組頭大會ある消防連の意気込みにも銘を打つ璃々しき今日の雨妻馨、市井作味、小林掛茶屋達の當て込みにも會合と財界の不況の中にも治右衛門、渡邊五郎左衛門、た全盛の賑ひを見やう外來者歓迎の爲めと郷土紹介、渡邊彌壽(夏井)小頭木村利平、消防手柳原にも何と云ふつれない雨です華々しき幾多の催しある方に普及させる方針によつて千五百五十五件巡回看護は二百七十七ヶ所設置せられて八十七ヶ所設置せられてと云ふのはどんな事かと云は傷災の爲看護の必要のあつた巡回看護 婦が健康相談所から請求のあつた巡回看護 婦が健康相談所から出張して次の様な仕事をするのである

- 一 診断書、健康證明書等も請求があれば交付す
- 二 巡回看護と云ふのは疾病又は傷災の爲看護の必要のあつた巡回看護 婦が健康相談所から出張して次の様な仕事をするのである
- イ 検眼、綿帯交換、濕布吸入、洗腸等の看護手を當てる
- ロ 看 方法や醫藥上の心得等に就て附添の家族の相談相手となる
- ハ 其他主治醫のある場合は其指圖に従つて必要看護をする。



植田演武大會

石城郡植田町の武徳會主催演武大會は来る二十九日午前十時から同町小學校に於て開催されるが地方剣士多數の來會を歓迎する。

郵税十五錢
部二五錢
廣一行四〇錢
料指定廿錢
發行編輯人
印刷人牛谷政登
發行所
行丁目五三番地
所合川酒蔵所

桑園の肥培管理(一)

それから樹液が流動し始める頃發芽を齎一にさせ同時に早く開葉せしむる爲に芽出肥を施す即ち春蚕期に伐採收葉したる刈株から發芽を促進せるのが此給肥で春肥は桑樹の休眠末期に適性のもので施すので春の芽出肥と云ひも一つを夏の芽出肥といつて何れも盛んに發育する時期であるから人糞尿とか硫酸アンモニヤ等の速効肥を用ふるのがよい施肥の量は農林省蚕業試験場の標準では春肥反當を下肥九十貫、強過燐酸石灰一貫五百目とあるが鳥取高等農校の農場では大豆粕十五貫硫酸アンモニヤ二貫五百目木灰十貫或は推肥百貫、下肥七十貫、大豆粕十貫、木灰十貫或は推肥百五十貫、硫酸五貫を施してあるが肥料は其地方により土質によつて異なるので一概にはされぬ石城地方に適量として技術家の語る所によると先づ基肥として一反歩當り推肥三百から五百貫人糞尿百五十貫、大豆粕に枚燐酸七貫石灰二十貫位を與へる次へて喜耕は桑樹の根元をほじくる事はよくない全國を平均に地均せばよい春の發芽前三月下旬頃から四月上旬に行ふのだが春肥をやると同時にやつてもよい手豆にする事は桑園の除草である又解來は春肥を施し春耕を終つ時に行ふのが普通で遅れると發芽を損傷する

度れがあるけれども晩霜の心配ある處は豫念上成る可く遅く解束せねばならぬ。

安いからこて品はわらして

まいせん
良いか、悪いか
試してごらん

小笠銘茶

大角園

特約

總てが

お徳用向

市價三割安

壽仙二〇錢
福壽一八錢
焙茶拾五錢
番茶拾五錢
川柳拾二錢

何れも四半斤袋入

正味四十目

瓶詰和洋
酒・罐詰
雜貨・洋
菓子類

店商谷半

(隣院病松若)町六町平

ライ寫
イ眞
館

平才植小路
電話八四七番

諸毒下シの大妙藥
安流丸
持約山野遠藥局

櫻で自慢の
平町松ヶ岡公園
見のわ
花はせ
折は下
立寄さい
眞寫御
三光館
松ヶ岡公園
表坂の入口

價大低
質大高
本店
本店
本店
本店

陽春の御用意
ハヤルツ
平町四丁目電話一〇四番

帽子
シャツ
ネクタイ
子供服

中島寫眞館
平町字田町
よろちございますか
うちりますよ

本
の
器藏冷
丸
製造元
平町三丁目電話三五九番

入荷山積
ナフトー友仙
メリンス友仙
春柄本場銘仙
英ネル新柄
本七一
正縹帶皮
特に勉強の品々

安價に
迅速に
町噂に
親切に
福島縣石城郡平町
遠藤活版所
電話七四三番

洋服は
模範
裁縫
高島屋
平町驛前
電話八〇七番

法林定
お産教
お散財
から
平町四丁目電話二〇番

最新流行行
會津桐材
自製専門
小松はき物店
磐城平町二丁目
電話九一〇番